

神代之風



発行：玉置神社
発行人：弓場季彦
TEL 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429

初午祭

本年は三月五日(火)の
十時から執り行います。
弓神楽舞
「恋しくて十津川」(歌手 三倉水楓)
「江州音頭」(家元 近江留正若)
を奉納します。関連記事は「頁以降」
をご覧ください。

例年、大晦日から年始めは雪が舞うことも珍しくありませんが、本年は奇跡的にも天候に恵まれました。冷気は厳しいながらも大晦日の大祓・除夜祭・除夜太鼓・元旦の歳旦祭は近年にないたくさんの人出でありました。玉置神社のひとつの特色として県外からの参拝客が多いのですが、このたびも遠く東北方面からの参加もあり、大晦日から元日まで車中で待機しながらのご参加もありました。標高千メートルの位置にあり、雪に見舞われることが多々あるので除夜の参加は見合わせられる場合が殆どであります。今回は除夜にも子供達の駆け回る光景もあり賑やかでありました。地元の名物太鼓グループ鼓魂による除

奇跡的な天候か 参拝客賑わう

玉置神社



夜太鼓、これはそれぞれの想いを込めて一人一回太鼓を打ち、打ったバチと絵馬を記念にいただき、一〇八回に達すると除夜太鼓は完了するのでありますが、かなり早いスピードで所定回数へ進んでいきました。三が日も数年来にない多くの参拝客で賑わい祈禱所は順番待ちであふれかえりありがたいがたいやら申し訳ないやら。無料で食していただいている、村人の作る暖かくて甘いぜんざいは大変好評で、お代りを希望する人があつとを絶たず、用意していた材料が予定より早くなくなりました。

「ただでどうしてこんなにおいしいの!」
と聞いていただいた子供たちの声に、私はどれほど元気づけられたことか。ありがたいです。

十津川・復興への祈り 村は、全力で復旧復興へ

紀伊半島の中央部・奈良県の最南端に位置する。面積は奈良県の五分の一、吉野郡の二分の一を占め、村では日本で最大、神武御東征以来かずかずの国事に参加。なかでも南北朝時代や明治維新前後における十津川郷士の活躍はめざましかった。

その十津川村が、明治二十二年八月の大水害により六百四十世帯、二六六七名が北海道へ移住し、現在の新十津川町を興した。平成二十三年の台風十二号により、またしても大打撃を受けた。神社では義援金を募ると共に日々「復興への祈り」を捧げています。村では村人の安心・安全を一時も早く実現するため、復旧復興に全力を挙げています。

ごあいさつ



玉置神社
宮司 弓場季彦

この度、平成二十四年十一月二十日付をもちまして神社本庁より玉置神社の宮司を拝命いたしました。もとより浅学の身にして責任の重大さを痛感しておりますが至誠を尽くし御神徳の発揚を御社頭の隆昌に懸念に歩み続ける所存でございます。

どうぞ、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い致します。なお、神社の過去・現在・目指す未来のことなどを一人でも多くの方々に知っていただきたく一日も早い十津川村の復興と観光等の活性化への思いと共に題字「神代之風」を神社の広報紙として刊行することといたしました。どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。

行幸・参詣

玉置神社には景行天皇・天武天皇・清和天皇・白河院・鳥羽院・後鳥羽院など皇室関係をはじめとする多くの方々が訪れたと伝えられている。後白河院と和泉式部も参詣されたと伝わり、境内に記念の塔がある。

次の歌が残されている。

和泉式部(一〇一〇年参籠)

「玉置の名に 立つものは 秋の月に 磨ける光 なりけり」

後白河院(一一五七年行幸)

「忘るなよ ほどはくもに 隔つとも なれて久しき 三熊野の月」

玉石社



玉置山の頂上に至る途中にあり、玉置社の末社のひとつ。三本の大木に囲まれてご神体の丸い石がある。

役の小角及び空海が拝して如意宝珠を埋めた所と伝えられている。御祭神は大己貴尊(大國主命の別名)

神代杉と杉の巨樹群(県指定天然記念物)

境内一円の巨杉群には神代杉など周囲八メートルから十メートル・高さ三十メートルから五十メートルに達するものもある。本殿後ろの神代杉は樹齢三千年といわれている。



題字のモチーフ、神代杉

弓神楽

木で作られた白い弓矢で巫女の衣装を身につけた男性の神子が四海・安穩を祈って舞う。

例大祭のときには奉納する。過去に白河上皇や後陽成上皇の参詣されたとき皇室の御祈願にこの弓神楽が奉納されたとの記録がある。

「熊野なる玉置の宮の弓かぐらつる音すれば悪魔しりぞく」



© 朝日新聞 平成20年11月17日付「熊野・大和幻視行」より引用

玉置山頂上

頂上は標高一〇七六・八メートル社殿から約二十分で頂上に登れる。ここからは、はるか南方に熊野灘が眺められ晴れた日には船の姿もみられるがあるので「沖見岳」ともいわれている。



玉置山の夕景

梵鐘(国指定重要文化財)

源義仲の軍勢の前に梶原景季と宇治川の先陣争いを演じた(一一八四年)佐々木高綱が献納したと伝えられ、梵字が刻まれている。



玉置神社社務所襖絵

現在の「玉置神社社務所及び台所」は神仏習合時代の別当寺高牟婁院の主殿及び庫裏で文化元年(一八〇四)「玉置山高牟婁院室御殿主殿庫裏皆造営」の棟札が残っています。入母屋・懸造りの建物上部は書院造りで「御殿の間」「孔雀の間」「老松の間」「鶴の間」「旭鶴の間」など主要な部屋は木挽職人によって樹齢600年前後と推定される巨杉から製材された杉材の四分板(厚さ十二ミリの板)で仕切られています。

五十数枚の杉戸や襖には狩野派の絵師の花鳥図等が極彩色に描かれています。また階下の懸造り部分は山伏たちの参籠所として使用されました。慶応四年(一八六八)の神仏分離により玉置山より仏教が払拭されると高牟婁院は玉置神社の社務所と改められました。「玉置神社社務所及び台所」は江戸期の山岳信仰を伝える貴重な遺稿として国指定重要文化財・奈良県指定文化財・十津川村指定文化財に指定されています。



代表的狩野派作品(社務所)



玉置神社モデル? 幻想アニメ公開予定



© 2013 荻原規子・角川書店
「FRDG」製作委員会

熊野古道などを舞台にした幻想小説「RDG レッドデータガール」がテレビアニメ化され近く放送される予定です。

主人公鈴原水子は、世界遺産・熊野古道「大峯奥駈道」にある神社「玉倉神社」で祖父の宮司と中学まで、学校と神社の往復だけで育ち、「玉倉山」の山頂で人知れず舞うなど、引つ込み思案な普通の少女。周囲に決められて東京の高校に進学し、特別な存在になっていきます。

既にこの情報を知り、玉置神社を訪れる人もいます。

泉水子の少女時代の地と想定される玉置山・玉置神社で時空を越えてロマンを楽しみ熊野の歴史、文化にも触れてみませんか。

恋しくて十津川

この曲を、作詞作曲されたのは、十津川にご縁のある福西壽男さんです。CD盤も出されました。作中では古き良き十津川の風情を醸し出しています。

この曲が、しみじみと人々の心に伝わることから、風屋地区では盆踊りでも披露され、

その盆踊り用の振り付けは、特別に元OSK(大阪松竹)歌劇団の吉津たかし(女性)さんに依頼して頂いたものです。歌詞は次のとおりです。

さまよう 心抑えきれず 忍んで
越えた 峠坂
待ってる人は もういないのに
涙が切なく 出るだけなのに
かやぶき 柿の木 杉囲い
ああ、十津川は 私のふるさと

貴方の愛を 悟れなくて 振り切る
女の意地がなし
せめて時間が もう少しでも
最終バスに 乗らなかつたら
谷瀬の吊り橋 分かれ道
ああ、十津川は 小雪が 風に舞う

思い出伝い歩いて 抜け殻だけの
路地の宿
未練、面影、つないでみて
一夜泊まりの 一人 夢芝居
湯の峰 湯煙 玉置山
ああ、十津川は 私のふるさと

パワースポット

標高千メートルに位置する玉置神社は、神々しい聖地として人々は畏怖され、近年、パワースポットとして訪れる人も多くいます。ある初夏の日、東京方面から来たという明るくて健康そうな若いカップルが三々四時間境内を巡り、山頂まで登るなど何度も繰り返し返していた。少々不審に思い、私は、「どうかされましたか。」と聞きますと、「ものすごいパワーを感じ、嬉しくてなかなか帰れないのです。」と云うのです。やはりこの玉置山には人々を惹き付けてやまない神気パワーがあるのでしょね。

世界遺産登録

平成十六年七月七日ユネスコ世界遺産会議で「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界文化遺産として登録された。登録された参詣道のうち大峯奥駆道に玉置神社も含まれている。

世界遺産

神気満ちて天地を結ぶ霊峯玉置山

熊野三山奥の宮 玉置神社

鎮座地 奈良県吉野郡十津川村大字玉置川一番地
御祭神 本社・玉置神社 国常立尊(くにとこたちのみこと)

伊弉諾尊(いざなぎのみこと) 伊弉冉尊(いざなみのみこと) 天照大御神(あまてらすおおみかみ) 神日本磐余彦尊(かむやまといわれひこのみこと)

撰社・三柱神社

末社・玉石社

年中祭事

歳旦祭

古神礼梵上祭

建国記念祭

三柱神社初午祭

出雲大社玉置分教会例祭

夏越大祓

大日堂社祭

玉置神社例大祭

山の神祭

大祓・除夜祭

月次祭

毎月 一日・十五日・二十四日

玉置山 四季彩

熊野のやまなみ雲海はるかに太平洋を遠望する玉置山。

標高1000メートルの境内には樹齢3000年といわれる神代杉はじめ大樹が杜と成り、その懐に抱かれるように荘厳な社殿が鎮座しています。

春には山の樹木がいつせいに芽吹き、初夏にはしゃくなげが咲き誇ります。

夏には大峯奥駆の修験者で賑わい、秋には秋祭りや紅葉。

冬には樹氷や霧氷の世界、四季折々それぞれの魅力があり村内はもとより、全国津々浦々から遠く外国からも御神域の大自然に誘われ崇高な御神徳をお慕いして多くの方々が参拝されています。

「防犯を学ぶ」

この度、五條警察署十津川警察庁舎にお願いして、境内及び周辺もチェックしていただき、防犯への日頃からの心構え、具体的な備え、異常の際の対処方法などについて、神社に於いてお話をさせていただくことになりました。この後も定期的にご助言、ご指導をいただきますことは誠に心強い限りであります。神職及び関係者一同、一層防犯への意識を高め、お社を守り抜くべく心を引き締めています。

初午祭のお楽しみ

古来より伝わる弓神楽を男性の神子が舞います。玉置神社でしか観られませんが、「恋しくて十津川」の曲が誕生して以来

歌い続けている三倉永楓(みくらはるか)さんがしみじみと歌います。作詞・作曲した福西壽男(ふせひさお)さんも初見参します。

江州音頭(こうしゅうおんど)は十津川出身の近江富士若(わか)おふじわかさんが口演し、太鼓、ギター、お囃子(おうちま)を近江社中(おうみしゃちゅう)がつとめます。迫力ありますよ。尚、好評のぜんざいと餅まきもご用意しています。幸運をつかんで下さい。

玉置神社崇敬会

会の目的

玉置神社崇敬会は、祭神であります国常立尊様の御神徳を仰ぎ、玉置山の神気に満ちた自然を愛し、全国各地より玉置神社を崇敬する人の集いです。

全国をはじめ世界から崇敬する人同志が心のつながりを深め、国常立尊様の御神徳をさらに宣揚し、神社神道の立場から自己の心身錬成につとめ、国内はもとより、世界平和の祈りと、さらなる御社頭護持に寄与することを目的としています。

ご入会いただきますと次のような特典がございます。

特典

当社の年中祭事に御案内申し上げ、春秋の大祭に参列できます。随時、昇殿参拝の特典が与えられます。

新しい年の御神符が授与されます。

当社発行の会員証により社務所内の襖絵が無料拝観できます。

当社からの広報紙が発行と同時に届けられます。

その他検討中の企画が具体化されたときは特典に組み入れて参ります。